

謎の森 ボカ

Jacques Zeimet作

プレイ人数：2～6人
対象年齢：8歳以上
プレイ時間：20～30分

ルールブック

セット内容

- カード：64枚(8種類各8枚) → → → →
- ルールブック



コウモリ



ハエ



ゴキブリ



カエル



ネズミ



サソリ



クモ



カメムシ

プレイヤーたちは、いやな動物たちが描かれたカードを、ほかの人に押し付けようします。カードを伏せたまま渡し、何が描かれているかを宣言します。渡されたプレイヤーは本当のことを言っているか、嘘をついているかを見定めるのです。これを間違えるとカードを押し付けられます。しかし、本当かどうかを見極められたら、カードを出したプレイヤーが取らされます。

最初に同じ種類のカードを4枚、押し付けられるか、引き取られたプレイヤーが負けです。また、自分の番にカードがなくなってしまっても負けです。

準備

64枚すべてのカードを伏せて、各プレイヤーに配りきります。配られたカードは、手札として持ちます。

なお、2人でプレイする場合のことは、まとめて後述します。

進行

適当な方法でスタートプレイヤーを決めてください。

このプレイヤーは、手札から一枚選び、任意の人ひとりを指名し、このカードを伏せて渡します。このとき、このカードに描かれた生き物の名前も宣言します。ただし、本当のことを言ってもかまいませんし、うそをついてもかまいません。

カードを受け取った人には、二つの選択肢があります。

1. 宣言が「本当」か「うそ」かを、はっきり答えて、カード表にする。

答えが合っていたら（「本当」といって宣言とカードが同じだった場合、または「うそ」と答えて、カードと宣言が違った場合）、カードは宣言して出したプレー

ヤーに戻され、そのプレイヤーの前に表にして置かれます。

答えが間違っていた場合には、答えたプレイヤーがこのカードを受け取り、自分の前に表にしておきます。

2. 判断をほかのプレイヤーに委ねます。

この場合には、カードを取ってそっと内容を確認し、まだこのカードを見ていないひとりを指名して、伏せたままカードを渡して、その内容を宣言します。この宣言は、前のプレイヤーのものと同じでもかまいませんし、違っていてもかまいません。もちろん、本当のことを言ってもいいし、うそをついてもかまいません。

宣言を見破られた場合は、このプレイヤーが、カードを取って自分の前に置くこととなります。本人を除いてすべてのプレイヤーが見てしまっている場合には、この選択はできません。必ず答えなければなりません。

誰かがカードを取って自分の前に置いたら、そのプレイヤーが、新たなスタートプレイヤーとなって、手札から一枚選んで、同じようにプレイを続けます。

ゲームの終了

ゲームは以下のような場合に終了します。

- いずれかひとりのプレイヤーが同じ種類のカードの4枚目を自分の前に置いた場合。
- スタートプレイヤーになったときに手札が一枚も残っていない場合。

両方のケースとも、これらのプレイヤーが負けです。

2人でゲームをする場合

カードをよく混ぜてから、内容を見ずに10枚のカードを抜き出します。これらのカードは使いません。

残りのカードは通常のゲームのように、両プレイヤーに配りきります。そのほかに2人でゲームする場合のゲーム終了の条件が少し変わります。

- どちらかのプレイヤーが同じ種類のカードの5枚目を自分の前に置いた場合。
- スタートプレイヤーになったときに自分の前に、手札が一枚も残っていない場合。

両方のケースとも、これらのプレイヤーが負けです。

バリエーションルール

- 準備の時に、まず各プレイヤーに1枚ずつ表にして配ります。これらのカードは、取って自分の前に置いたカードとして扱われます。残ったカードは通常通り、伏せて各プレイヤーに配り切ります。
- ゲームの終了条件が一つ増えます。『いずれか一人のプレイヤーが8種類すべてのカードを自分の前に置いた場合』

ルール問い合わせ先:



東京都文京区後楽 1-1-15 梅澤ビル 5階
Tel 03-3815-5956 Fax 03-3815-7956
shop@mobius-games.co.jp
<http://www.mobius-games.co.jp>